

大桑 第250号 9月号 まさたか



栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員6期目
よろしくお願いします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務活動費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

第9回アフリカ開発会議(TICAD9)について

この度、令和7年(2025年)に第9回アフリカ開発会議(TICAD9)が横浜市において開催することが決定しましたので、ここでお知らせします。

令和7年(2025年)に開催される第9回アフリカ開発会議の会議日程については、まだ未定ですが、今後、安全で円滑な会議の運営や国際交流の推進などのために関係者の皆様のご協力や主に横浜市内の皆様のご理解が必要になってきますので、引き続きよろしくお願いします。

ちなみに横浜市においては過去3回アフリカ開発会議を実施しており、第7回のアフリカ開発会議においてはアフリカ53か国(42名の首脳級を含む)のほか、国内外から10,000人以上の方が参加した日本が主催する最大規模の国際会議となっており、横浜市内への経済波及効果は約27億6,900万円あったと試算されています。

大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(おおくわまさたか)

第250号(9月号)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間2-20-7-102

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-884-4917

H P : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業/神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院修了

平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選

平成27年(2015年)4月 横浜市議員 4期目当選

平成31年(2019年)4月 横浜市議員 5期目当選

令和 5年(2023年)4月 横浜市議員 6期目当選

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

7月分の収支報告(収入は政務活動費55万円/毎月)

令和5年度7月現在の政務活動費累計残高は411円です。

今月の支出の内訳

調査研究費	68,700円	資料作成費	0円
研修費	0円	資料購入費	3,500円
広報費	324,146円	人件費	0円
広聴費	0円	事務所費	105,747円
会議費	0円	事務費	13,018円

7月の支出合計は
515,111円です。

近況報告

令和5年第3回市会定例会ですが令和5年9月7日(木)から開催されています。予定では10月19日(木)となっておりますので、変更などがありましたら改めてお知らせします。この定例会では令和4年度の横浜市の決算についての審議もする予定となっております、私はその委員会の委員長を務めることになりました。

次に私の事務所についてですが、桂町から笠間に移動し、少しずつですが事務所に人がいる体制を取れるようにしております。しかし土日なども含め、1日中、事務所に人がいる体制をとることは難しいので、連絡をして頂いた時に不在の場合は、留守番電話へのメッセージ、またはFAXをお願いします。

最後に、私は栄区のことを中心に、横浜市で起きていることをお伝えしています。これは、私は「**知って頂くことが何よりも大切**」だと考えているからです。今後も、この考えをもとに大桑新聞を作成していきますので、よろしくお願いします。

令和4年度の横浜市の借入金などについて

機会を見つけてお知らせをしている横浜市の借入金ですが、令和4年度の借入金の残高が分かりましたので、ここでお知らせします。

横浜市の令和4年度の借入金ですが約4億2,179万円でした。令和3年度の借入金が約4億2,540万円でしたので、この1年間で約361万円減少したことになります。また私が横浜市議員になる前年である平成14年度の借入金ですが約6億1,312万円でしたので、その頃と比べると約1億9,133万円減少したことになります。

私は、横浜市議員になる前から過度な借入金は人口減少・少子高齢化などといった課題を考える上で「なるべく少なくするべき」と主張してきましたので、借入金の減少は良い方向だと感じています。一方、将来のことを見ずして横浜市として投資をしたり、ダウンサイジングや複合化をはかりながら市営住宅や横浜市立の学校などの公共施設を建て替えたり、道路や橋梁などの維持管理を横浜市が進めていくには、どうしてもお金がかかってしまいます。

そのような中、横浜市は小児医療費を中学校3年生まで無償化しました。これは神奈川県内の多くの都市が小児医療費の無償化を進めていますので横浜市を子育て世代に選んでもらうには必要な判断だったと思いますが、毎年約40億円という費用がかかってしまいます。その他に中学校給食を令和8年度から始めようとしていますので、ここでも固定で毎年予算を確保しないとイケません。横浜市は「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」しかできなくなってきました。



大桑新聞ではみなさまとともに、
栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>
E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp